

平成27年度ごみ処理実績表

1 平成27年度ごみ処理実績表

人口・世帯数比較表（対前年度比）

	平成27年度	平成26年度	増減	対前年度比
人 口（人）	593,485	590,209	3,276	100.6%
世 帯 数（世帯）	272,472	268,367	4,105	101.5%

※各年度3月31日現在

ごみ発生量比較表（対前年度比）

	平成27年度(t)	平成26年度(t)	増減(t)	対前年度比
排 出 量	188,023	188,817	-794	99.6%
排出量（集団資源回収を除く）	173,693	174,236	-543	99.7%
一 般 ご み	147,970	148,568	-598	99.6%
粗 大 ご み	5,723	5,529	194	103.5%
資 源 物	19,911	20,078	-167	99.2%
びん	3,846	3,883	-37	99.0%
飲料かん	1,430	1,470	-40	97.3%
金 属 類	1,403	1,386	17	101.2%
ペ ッ ト ボ ト ル	1,963	1,936	27	101.4%
織 維 類	1,952	1,865	87	104.7%
紙 類	5,877	6,142	-265	95.7%
プラスチック製容器包装	3,440	3,396	44	101.3%
乾 電 池	77	51	26	151.0%
有 害 ご み（蛍光管）	12	9	3	133.3%
集 団 資 源 回 収	14,330	14,581	-251	98.3%
災 害 廃 棄 物	0	1	-1	0.0%

※平成26年度災害廃棄物は、粗大ごみ110kg

家庭系・事業系別排出量比較表（対前年度比）

	平成27年度(t)	平成26年度(t)	増減(t)	対前年度比
家庭系	126,816	127,105	-289	99.8%
一 般 ご み	101,172	101,528	-356	99.6%
粗 大 ご み	5,679	5,499	180	103.3%
資 源 物	19,876	20,018	-142	99.3%
乾 電 池	77	51	26	151.0%
有 害 ご み（蛍光管等）	12	9	3	133.3%
事業系	46,877	47,130	-253	99.5%
一 般 ご み	46,798	47,040	-242	99.5%
粗 大 ご み	44	30	14	146.7%
資 源 物	35	60	-25	58.3%

※災害廃棄物は含まない。

中間処理量比較表（対前年度比）

	平成27年度(t)	平成26年度(t)	増減(t)	対前年度比
焼却処理	154,211	154,655	-444	99.7%
破砕処理	4,293	4,071	222	105.5%
資源化処理	19,915	20,082	-167	99.2%

最終処分量比較表（対前年度比）

	平成27年度(t)	平成26年度(t)	増減(t)	対前年度比
焼却残渣	7,370	7,122	248	103.5%
資源化物	29,673	30,786	-1,113	96.4%
処理困難物	112	113	-1	99.1%

※ 平成34年度を目標年度とする最終処分量（焼却残渣物）の目標は4,800 t

資源化物比較表（対前年度比）

	平成27年度(t)	平成26年度(t)	増減(t)	対前年度比
資源化物	29,673	30,786	-1,113	96.4%
焼却残渣金属	655	658	-3	99.5%
未酸化鉄	772	879	-107	87.8%
未酸化アルミ	67	85	-18	78.8%
溶融スラグ	8,011	8,898	-887	90.0%
焼却残渣物（セメント資源・路盤材資源）	798	798	0	100.0%
再生粗大ごみ	9	9	0	100.0%
破砕前金属	185	181	4	102.2%
破砕後金属	754	688	66	109.6%
破砕前アルミ屑	29	27	2	107.4%
破砕後アルミ屑	22	17	5	129.4%
びん	3,768	3,754	14	100.4%
飲料かん	1,144	1,158	-14	98.8%
金属類	1,150	1,152	-2	99.8%
繊維類	1,373	1,302	71	105.5%
ペットボトル	1,614	1,610	4	100.2%
紙類	5,727	5,974	-247	95.9%
プラスチック製容器包装	3,068	3,048	20	100.7%
特定家庭用機器	14	11	3	127.3%
小型家電	424	477	-53	88.9%
乾電池	76	51	25	149.0%
二次電池	1	0	1	—
蛍光灯	12	9	3	133.3%

1人・1世帯あたり排出量比較表（対前年度比）

	平成27年度(g)	平成26年度(g)	増減(g)	対前年度比
1人1日あたり	866	876	-10	98.9%
1世帯1日あたり	1,885	1,928	-43	97.8%

※ 1人（1世帯）1日あたり排出量＝排出量÷年度末人口（世帯）÷365日（平成27年度は366日）

※ 平成34年度を目標年度とする市民1人1日あたりのごみ排出量目標は844g

資源化率及びリサイクル率比較表（対前年度比）

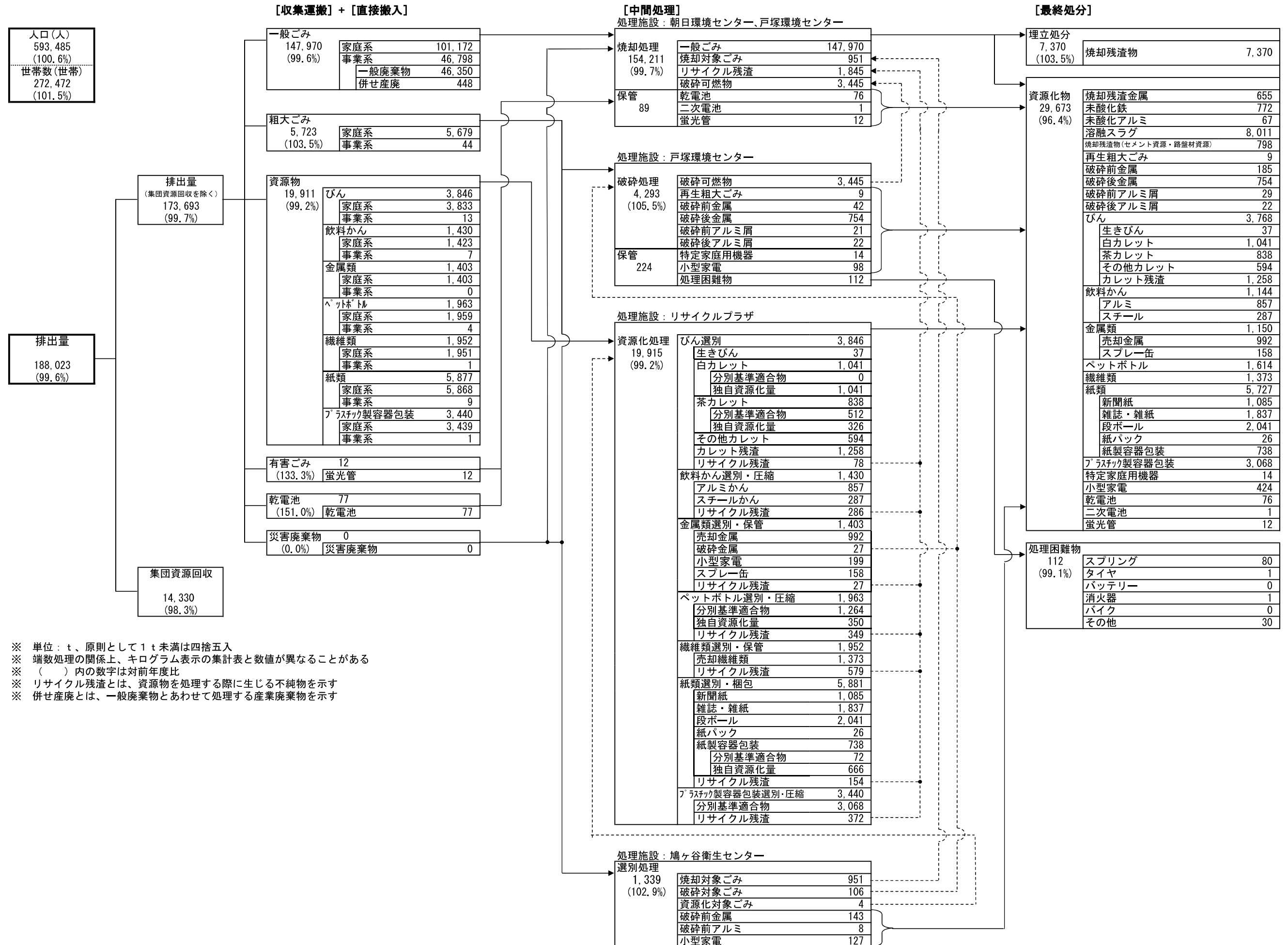
	平成27年度(g)	平成26年度(g)	増減(%)	対前年度比
資源化率(%)	17.1%	17.7%	-0.6	96.6%
リサイクル率(%)	23.4%	24.0%	-0.6	97.5%

※ 資源化率(%)＝資源化物÷排出量（集団資源回収を除く）×100

※ リサイクル率(%)＝（資源化物＋集団資源回収）÷排出量×100

※ 平成34年度を目標年度とするリサイクル率の目標は35.0%

2 平成27年度ごみ処理実績フローシート



※ 単位：t、原則として1t未満は四捨五入
 ※ 端数処理の関係上、キログラム表示の集計表と数値が異なることがある
 ※ ()内の数字は対前年度比
 ※ リサイクル残渣とは、資源物を処理する際に生じる不純物を示す
 ※ 併せ産廃とは、一般廃棄物とあわせて処理する産業廃棄物を示す

3 廃棄物の排出状況について

(1) 排出量の推移

「排出量」とは、市が収集したごみの量、市のごみ処理施設に直接搬入されたごみの量、および集団資源回収で資源化された紙類・繊維類の量の合計であり、本市の一般廃棄物の総量（併せて処理する産業廃棄物を含む）である。

平成27年度は、対前年度比794t(0.4%)減少した。

図1 排出量の推移

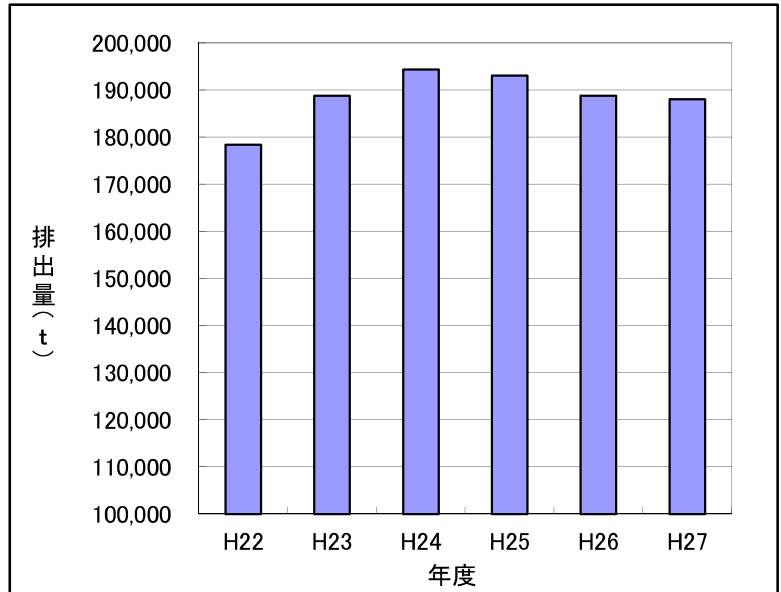


表1 排出量の推移

年 度	H22	H23	H24	H25	H26	H27
排 出 量	178,386	188,772	194,338	193,109	188,817	188,023
	-	105.8%	102.9%	99.4%	97.8%	99.6%

【下段は、対前年度比率】

※22年度32 t、23年度29 t、24年度2 t、25年度2 t、26年度1 tの災害廃棄物を含む。

(2) 排出量（集団資源回収量除く）の推移

「排出量（集団資源回収量除く）」とは、排出量から集団資源回収量を除いた量である。

平成27年度は、対前年度543 t(0.3%)減少した。

図2 排出量（集団資源回収量除く）の推移

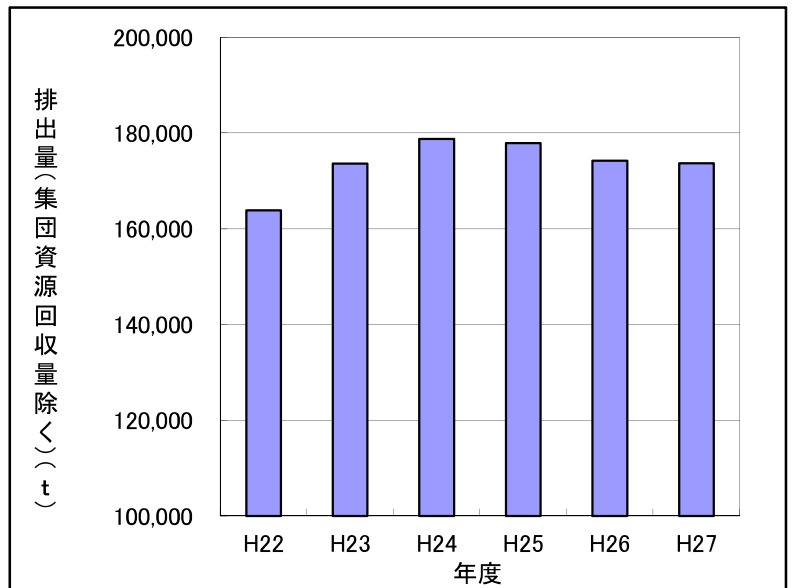


表2 排出量（集団資源回収量除く）の推移

年 度	H22	H23	H24	H25	H26	H27
排 出 量 (集団資源回収量除く)	163,906	173,672	178,769	177,900	174,236	173,693
	-	106.0%	102.9%	99.5%	97.9%	99.7%

【下段は、対前年度比率】

※22年度32 t、23年度29 t、24年度2 t、25年度2 t、26年度1 tの災害廃棄物を含む。

(3) 家庭系・事業系別排出量（集団資源回収量除く）の推移

平成27年度の家庭系一般廃棄物排出量（集団資源回収量除く）は、対前年度比289t（0.2%）減少した。

事業系一般廃棄物の排出量は、対前年度比253t（0.5%）減少した。

図3 家庭系・事業系別排出量（集団資源回収量除く）の推移

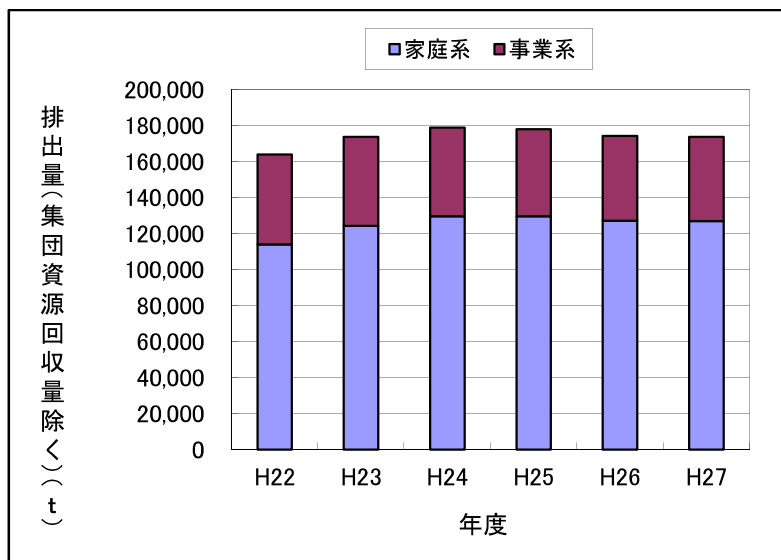


表3 家庭系・事業系別総排出量の推移

年 度	H22	H23	H24	H25	H26	H27
家 庭 系	113,944	124,138	129,474	129,581	127,105	126,816
	-	108.9%	104.3%	100.1%	98.1%	99.8%
事 業 系	49,930	49,505	49,293	48,317	47,130	46,877
	-	99.1%	99.6%	98.0%	97.5%	99.5%

【下段は、対前年度比率】

※家庭系・事業系に災害廃棄物は含まない。

(4) 分別収集の推移

ア 一般ごみ

平成23・24年度は旧鳩ヶ谷市との合併により増加した。

平成27年度は、対前年度比598t（0.4%）の減少となった。内訳は、家庭系が356t（0.4%）減少、事業系が242t（0.5%）の減少となっている。

図4 一般ごみの推移

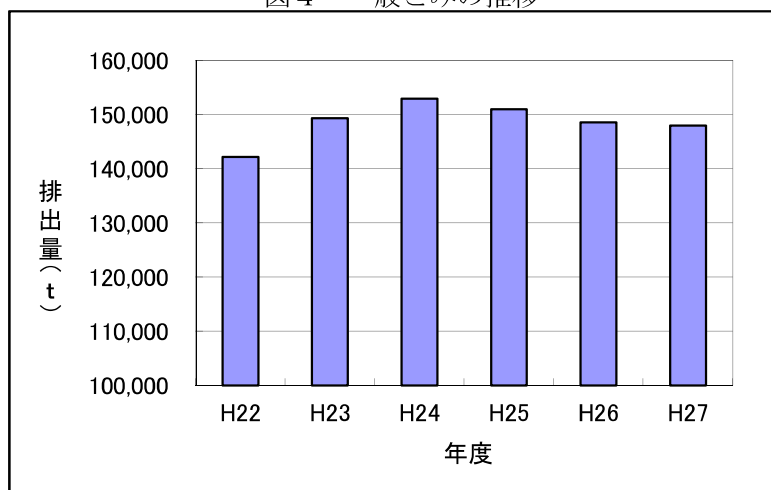


表4 一般ごみの推移

年 度	H22	H23	H24	H25	H26	H27
一 般 ご み	142,199	149,319	152,950	150,961	148,568	147,970
	-	105.0%	102.4%	98.7%	98.4%	99.6%

【下段は、対前年度比率】

※一般ごみに災害廃棄物は含まない。

イ 粗大ごみ

平成23・24年度は旧鳩ヶ谷市との合併により増加した。

また、平成25年度は大幅に増加しているが、これは、平成26年4月から、消費税率が改訂されたこと及び、特定品目の粗大ごみ処理料を有料化したための駆け込み排出によるものと考えられる。

平成27年度は、対前年度比194t(3.5%)増加した。内訳は、家庭系粗大ごみが180t(3.3%)増加、事業系粗大ごみが14t(46.7%)増加となっている。

図5 粗大ごみの推移

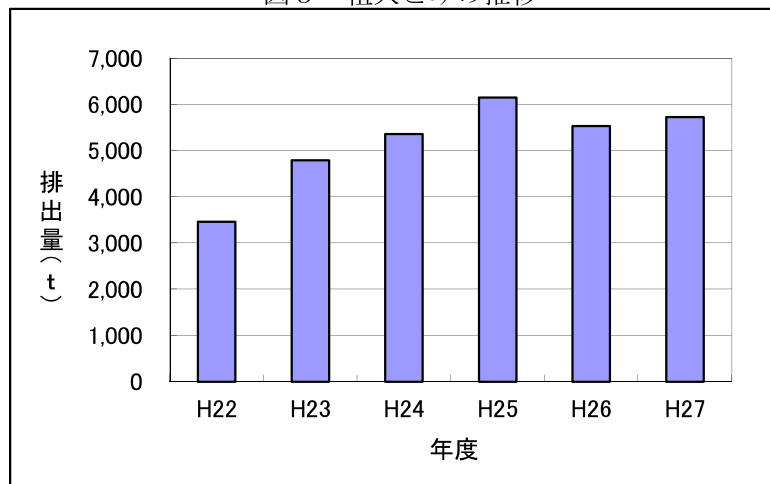


表5 粗大ごみの推移

年 度	H22	H23	H24	H25	H26	H27
粗 大 ご み	3,460	4,792	5,359	6,148	5,529	5,723
	-	138.5%	111.8%	114.7%	89.9%	103.5%

【下段は、対前年度比率】

※粗大ごみに災害廃棄物は含まない。

ウ 資源物

平成27年度は対前年比167t(0.8%)減少した。内訳は、家庭系資源物が142t(0.7%)減少、事業系資源物が25t(41.7%)減少となっている。

図6 資源物の推移

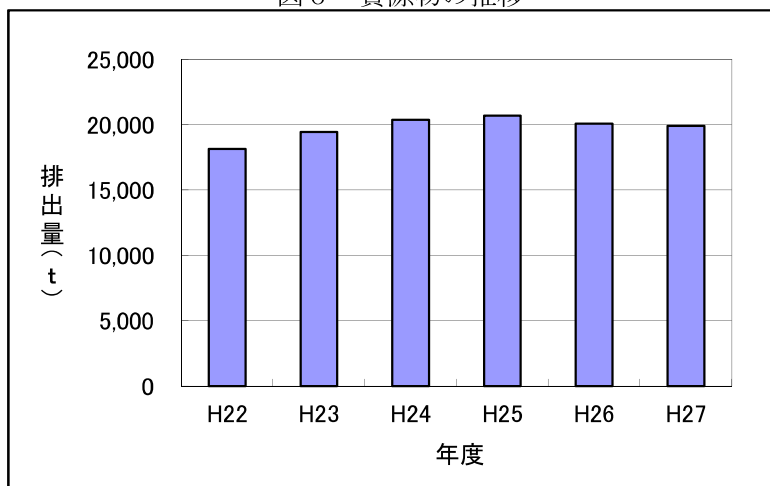


表6 資源物の推移

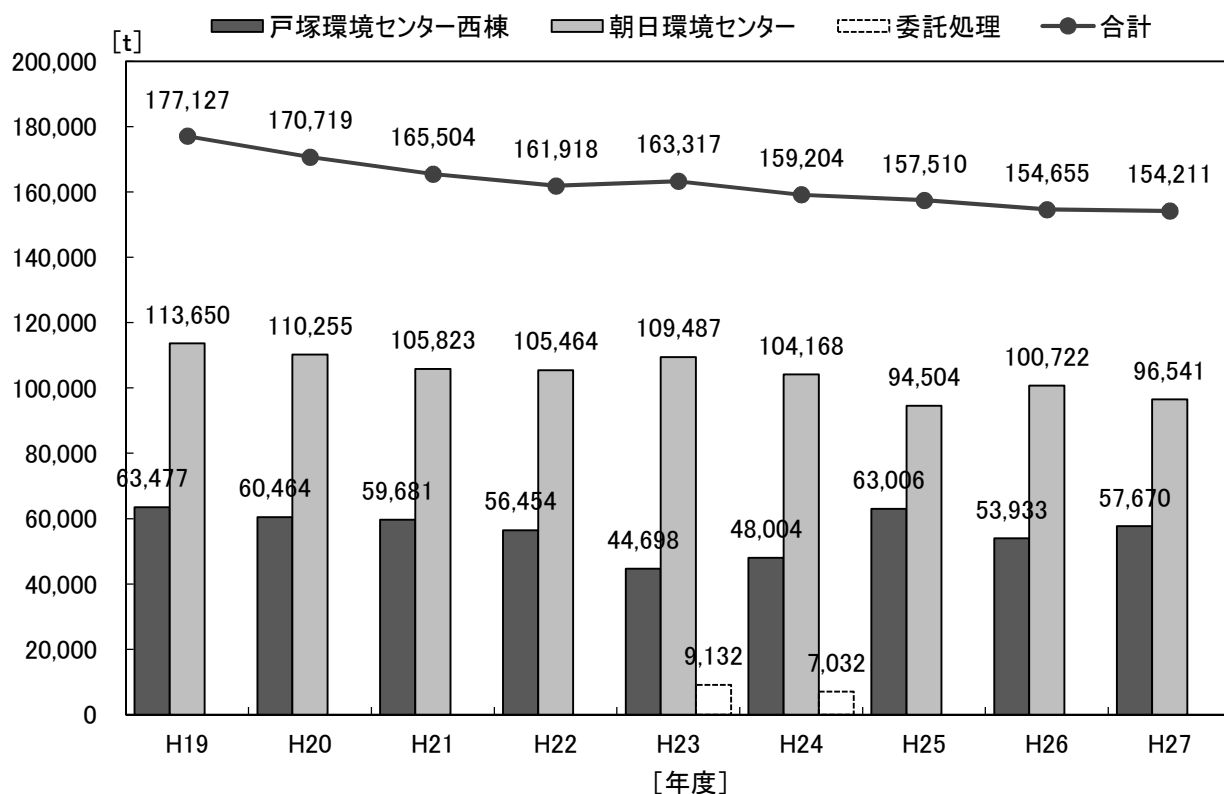
年 度	H22	H23	H24	H25	H26	H27
資 源 物	18,150	19,453	20,388	20,696	20,078	19,911
	-	107.2%	104.8%	101.5%	97.0%	99.2%

【下段は、対前年度比率】

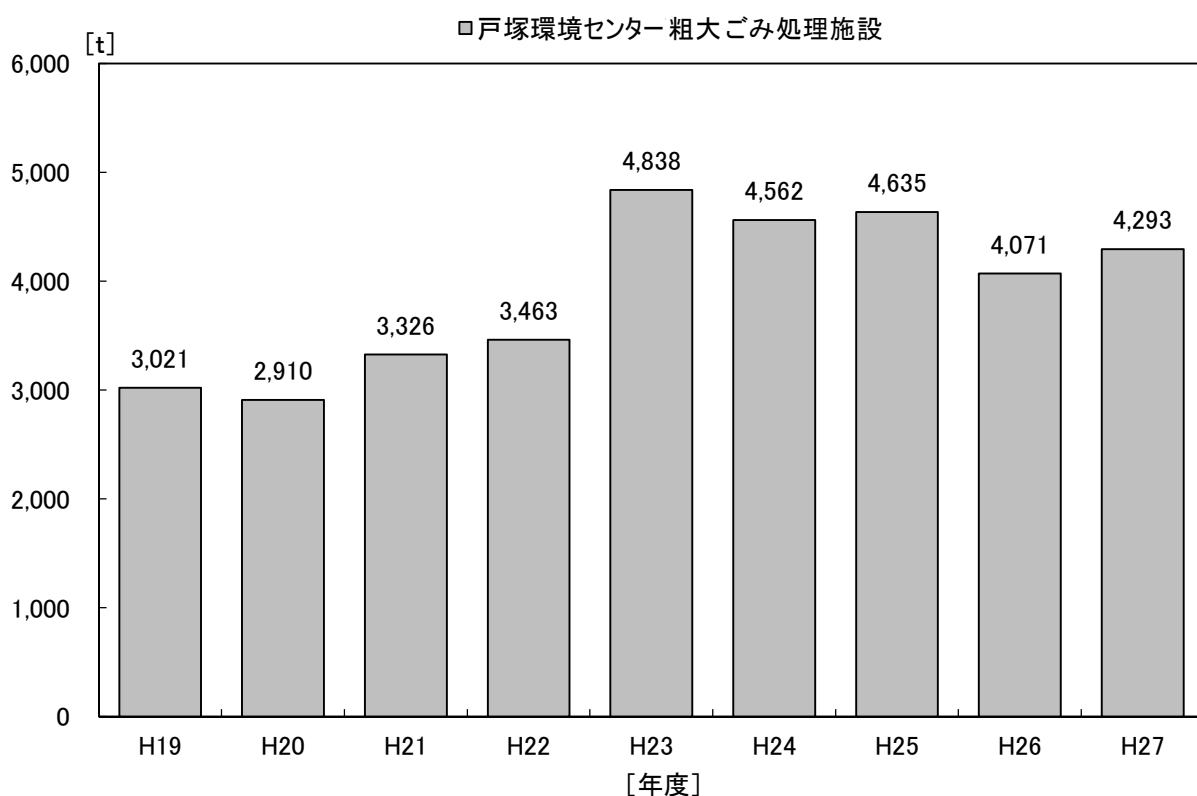
※資源物に災害廃棄物は含まない。

廃棄物の処理状況について（平成27年度ごみ処理実績表追加資料）

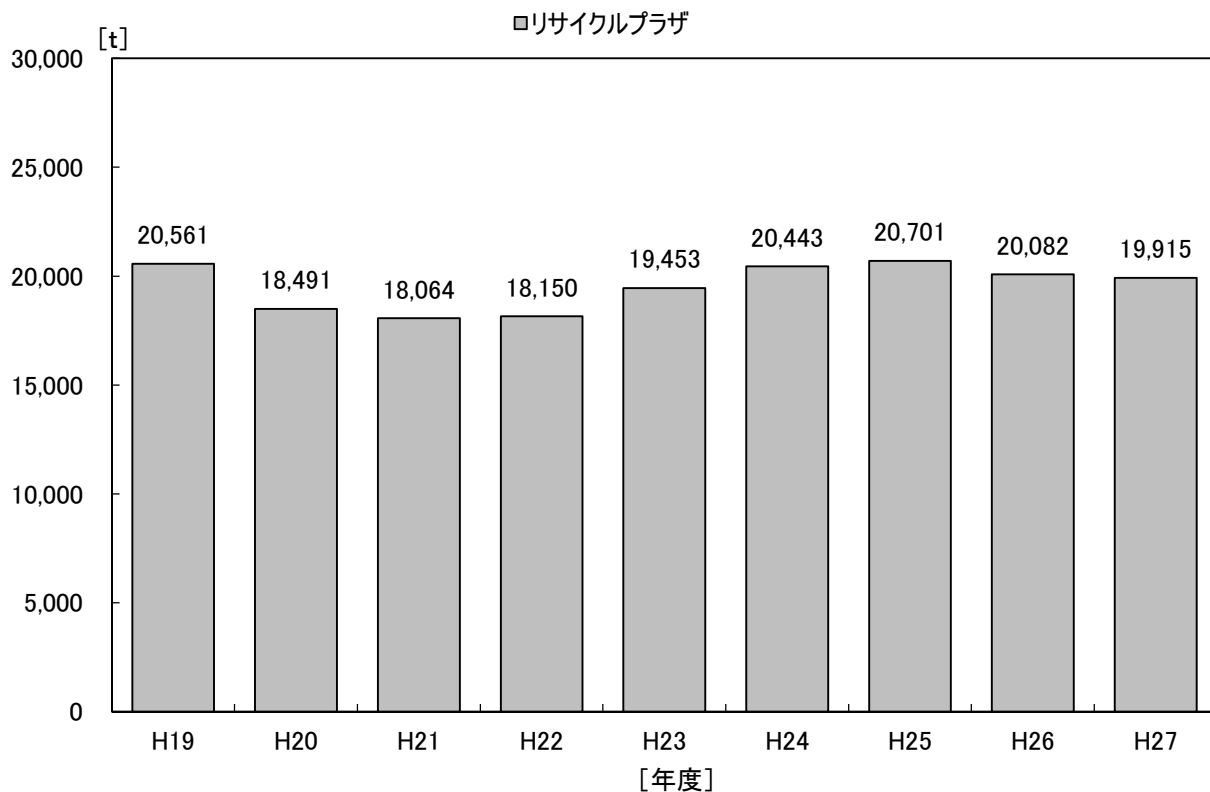
（1）焼却処理量の推移



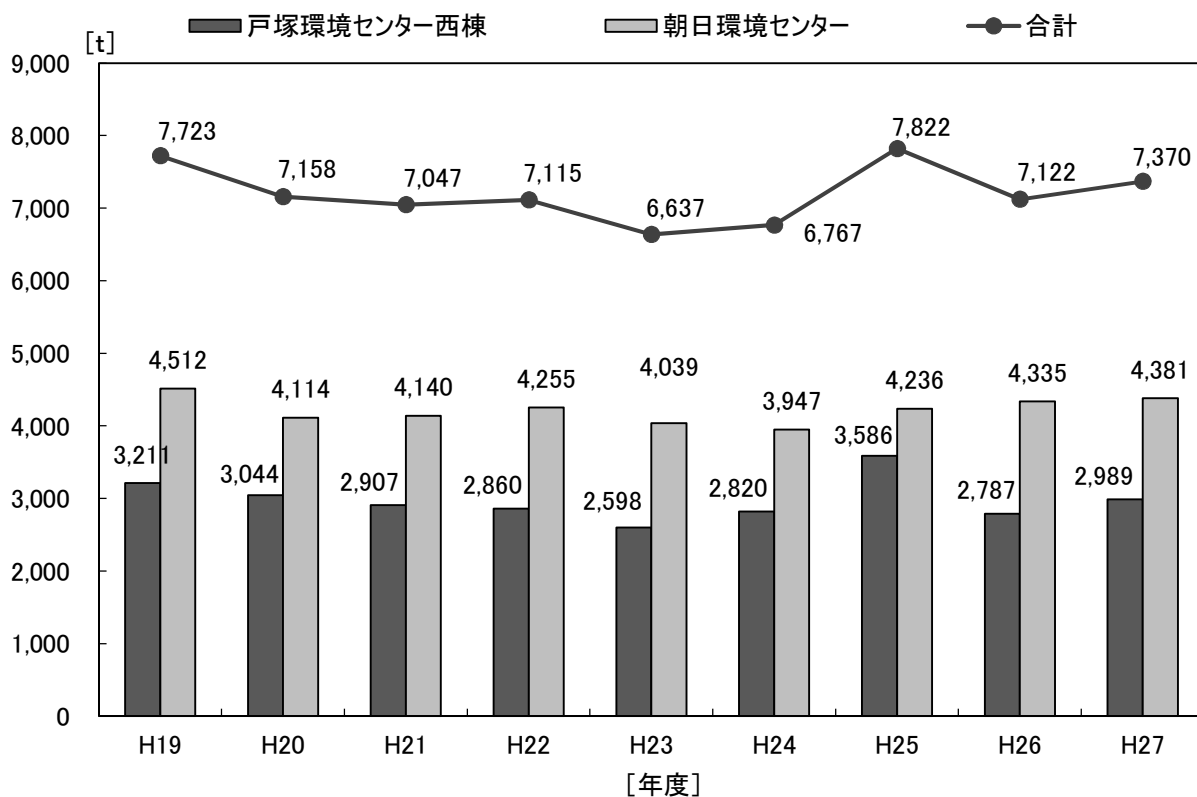
（2）破碎処理量の推移



(3) 資源化処理量の推移



(4) 最終処分量の推移



注) 平成 23 年度中に発生した焼却残さの一部は、東日本大震災の影響により受入れが困難となっていた処分場があり、戸塚環境センター及び朝日環境センター内で保管し、平成 24 年度に処分した。平成 23 年度中に保管していた焼却残さの重量は、戸塚環境センターが 1,357 t、朝日環境センターが 555 t である。